

第51回 おやこバードウォッチングだより

- ・とき 2020年^{ねん}2月^{がつ}16日^{にち} (日) 9:30~12:00
- ・さんかしゃ 5くみ 人^{にん} (大人^{おとな} 人、子ども 人)
- ・てんき あめ 5~12℃
- ・ところ ^{こうべしりつしんりんしょくぶえん}神戸市立森林植物園
- ・スタッフ ゆっくん: 油谷^{ゆたに}さん ふーちゃん: 藤川^{ふじかわ}さん とよりん: 豊川^{とよかわ}さん
ながやん: 長屋^{ながや}さん まーちゃん: 松岡^{まつおか}

○ ^い生きものふりかえり (赤字^{あかじ}は、写真^{しゃしん}か絵^えがあるよ)

^{とり}鳥 19種^{しゆ}

アオサギ キジバト コゲラ ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ルリビタキ
ジョウビタキ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ

^{こんちゆう}昆虫 フユシャクガ
^{しょくぶつ}植物 コナラの年輪^{ねんりん} アセビ



^{あめ}雨^{なか}の中^{さんか}を参加^{さんか}してくれ^たきみ^{たち}に
つれてきてくれたおかあさん、おとうさんに

A ^{ねんりん}年輪^き

コナラの切りかぶのところ
年輪をみんなでかぞえたね。
150本^{ほん}よりもおおかった。つまり
あの木は、150才^{さい}いじょうの
おとしよりだったんだ。
びっくりだったね。

○木の年^{ねん}れいは、年輪^{ねんりん}からわ
かる。

木は、春^{はる}から夏^{なつ}のはじめにか
けて葉^はがしげり、みきもふとく
なる。年輪^{ねんりん}をみると、よくのび
たところは、しろっぽい。夏^{なつ}か
ら冬^{ふゆ}にかけてみきはあまりふとらない。あまりふとらなかつたところは、くろっぽくなる。



1年で1本のくろっぽい年輪ができるから、年れいがわかるんだね。

○年輪からは、年れいがいにもさまざまなことがわかる。

むかしの仏像がいつごろつくられたかとか、何千年まえの気候もわかるよ。

気象予報士が気候の予測をするのにも年輪のデータをつかってるんだって。

だから、年輪は「過去のモノサシ」っていわれているんだよ。

ところで、バウムクーヘンっていうケーキ、してるかな。ドイツ語で「木のケーキ」っていうみだ。年輪のもよになってるだろ。

このきりかぶのねんれいは？



B ホオジロ ^{うえ}上からみたとき ^{よこ}よこからみたとき

どちらもおなじホオジロのオスだよ。でも、見たかんじがちがう。どうしてかな？

ホオジロのオス どっちがめだたない？ どっちがイケメン？



○^{うえ}上からみたときは、めだたないね。あたまもせ中もまわりの草とまぎれてるだろ。タカなどがじめんにいるホオジロをみたときもこのように^み見えている。天敵のタカにはめだたないようになってるんだ。

○^{よこ}よこからみたとき、かおだけはめだってるね。^{しろ}白と^{くろ}黒がはっきりしてるだろ。メスや^た他のオスなど、なかにアピールしているんだ。よこがおは、けっこうイケメンだね。

C アトリのせ中が^{なか}白、なぜだろう？

せ中が白くみえていたアトリがいたね。

○じめんや^{えだ}枝でエサをたべているとき、めだたないね。せ中の^{なか}白いと^{しろ}ころがみえないからだ。天敵の^{てんてき}タカが^{そら}空からねらっているとき、めだちたくないんだね。



〇とんでいるときは、よくめだつね。つばさをひろげると、せ中の白色が大きくみえるからだ。むれ

になってエサをさがすアトリは、うしろからやってくるなかまに「こつちにとぶよ」ってアピールしてるんだ。



な～んだ、ホオジロもアトリもいっしょじゃないか！
 なかまにはめだちたい。だけど、こわ～いタカにはめだちたくない。
 じめんでエサをとる鳥は、タカなどからはめだたず、なかまからはめだつ色の鳥がおおいんだ。 なかなかうまくできてるね。

D 雨の中の鳥がかんさつできた！

ずっと雨がふってた。でも、鳥たちは雨の中でもげんきにエサをたべていたね。

•もっとはげしい雨の中でもエソビタキがこずえでエサをとっていたよ。

•ツバメがはげしい雨でもとびまわっていた。

大きな鳥は3日くらいたべなかつ

てもへいきなものもある。だけ

ど、小さな鳥は半日もたべられな

いと死んでしまう。それで雨の中でもエサをたべなければいけないんだ。エサがみつけないため、人がいてもあまりけいかいしないよ。

〇大雨、雨風の日は死ぬ鳥もおおい。わたりのときやヒナはとくに死ぬことがおおい。

•雨風がつよかったよ、カワラヒワの巣がくずれて、ヒナがじめんにおち、アリにくわれていたことがある。



おおあめ じつ た
 ・大雨のよ^すく日、田んぼのあぜのヒバリの
 巣。ヒナがびしょぬれになってしんでいた
 ことがある。

てんき やがい
 天気がいくらわるくても、野外でくら
 す鳥たちは、たいへんなんだね。



E アセビの花のみつ、どくはないの？



アセビの花があちこちにさいていたね。
 アセビは葉にも花にもどくがある。殺虫剤
 のざいりょうにもなるんだって。
 ところが、メジロはアセビの花のみつをよ
 くすってるよ。みつは、だいじょうぶなんか
 な。ひょっとして、メジロのおなかの中にと
 くをけしてくれるバクテリアがすんでいる
 のかもしれないな。

ぶんしゃしん え
 文・写真・絵：まーちゃん

- 私たちは、子どもたちが自然に接することにより、生き生きとした科学体験をしてもらうことを願っています。自然界のきびしさやふしぎに感動する中でこそ『観察する力』『考える力』『思いやる力』を身につけていってもらえるものと考えています。
- 「野鳥や植物、昆虫、動物など生きものすべてが、お互いに関連し、影響を与えながら、人も含めた自然環境を造り上げている」ということを、共に楽しく学んでいけるようにしたいと思い、親子バードウォッチング活動をおこなっています。
- 私たちは、ボランティアで活動しています。上記の趣旨に気持ちを同じくしたものがスタッフをしています。子どもたちや保護者の方が熱心に自然に接しておられる姿をみるのが、私たちスタッフの喜びです。

★「森林植物園おやこバードウォッチング」 偶数月の第3日曜 申し込み：神戸市立森林植物園に ☎ など

★「甲子園浜カモ・カモメおやこバードウォッチング」 毎年1月末ころの日曜。

「甲子園浜シギ・チドリおやこバードウォッチング」 2020年5月5日(火、祝) (例年4月末か5月初め)

→甲子園浜申し込み：前日までにまーちゃんへ(松岡：090-4273-3851 bueen302@hi-net.zaq.ne.jp)

